2016 年 12 月 22 日

◇視聴報告まとめ＜2016 年 12 月 22 日号＞◇

テレビ朝日「報道ステーション」

沖縄県内の米軍専用施設の総面積の 17.7%を占める北部訓練場が返還も、返還区域内のヘリパッドを返還区域対象外の高江地区に移転することに地元の反発が根強いことを報道。後藤氏は「基地負担軽減には、質・量の面の両方があり、今回の返還は量の面では大きな軽減に繋がる一方で、民家がある高江地区へのヘリパッド移設を伴うため質の面、地元住民の精神的不安、政府への不信が強まることになるのではないか。稲田防衛相が述べていた『周辺の住民生活への配慮に全力で取り組む』を実践できるかに、政府の本気度・真剣度が問われている。強い方が弱い方に歩み寄ることがない限り、双方の溝は広がるばかり」とコメント。

（所感）

後藤氏の言う「量」即ち面積だけを削減したところで沖縄県民の納得を得られないという意見は理解できるが、「質」とは究極的には個々人の主観であり、政府が全ての住民の心情に対して配慮することは現実的に困難であるため、何処かで妥協点を探っていく必要があるのではないか。

放送法遵守を求める視聴者の会